

平成23年(2011年)3月期 第3四半期決算

SPORTS ENTERTAINMENT
ROUND1

現況と今後の展望(業績説明会資料)



(プエンテ ヒルズ モール店 : アメリカ ロサンゼルス)

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東証・大証 市場第一部

Code Number: 4680

2011年2月10日

2011年3月期 第3四半期累計期間 連結決算の概要



		単位	2010年3月期 3Q (2009.4~2009.12) 前四半期累計期間 実績	2011年3月期 3Q (2010.4~2010.12) 当四半期累計期間 実績	増減
店 舗	全店舗数	店舗数	104	107	+3
	全店舗稼働月数	月数	889	954	+65
損 益 (P L)	ボウリング	億円	218.5	221.8	+3.2
	アミューズメント	億円	248.5	263.5	+14.9
	カラオケ	億円	44.4	49.2	+4.8
	スポッチャ	億円	64.8	62.2	2.6
	その他	億円	21.8	19.6	2.2
	総売上	億円	598.3	616.6	+18.2
	営業利益	億円	76.7	74.7	2.0
	経常利益	億円	46.2	39.7	6.4
	売上高経常利益率	%	7.7%	6.5%	1.3%
	四半期純利益	億円	22.2	129.0	151.3

(小数第二位(百万円)切り捨て表示)

当第3四半期累計期間におきまして、過年度の資産除去債務費用の全額(約31.7億円:計画繰り込み済)、及び出店計画変更損失(約88.0億円)、既存店舗を含む出店形態の変更損失(約130.0億円)を特別損失として計上しております。

(経常利益39.7億円 - 資産除去債務費用等31.7億円 - 出店計画変更損失88.0億円 - 既存店舗を含む出店形態の変更損失130.0億円 + 法人税等による調整他81.0億円
= 四半期純利益 129.0億円)

2011年3月期 第3四半期累計期間 連結決算の分析



(単位:億円 小数第二位(百万円)切り捨て表示)

		第3四半期累計期間 計画	第3四半期累計期間 実績	差額	備考
損益	ボウリング売上	223.4	221.8	1.5	【経常利益の計画差の要因】 計画額 44.9億円 ・売上の減少 4.0億円 (米国店舗を除く) ・人件費の増加 2.7億円 ・その他 +1.5億円 実績額 39.7億円 【特別損益の内訳】 特別損失 ・出店計画変更損失 88.0億円 ・既存店舗を含む 出店形態の変更損失 130.0億円 ・資産除去債務費用 31.7億円 ・固定資産除却損 2.8億円 (アミューズメント他)
	アミューズメント売上	264.9	263.5	1.4	
	カラオケ売上	49.2	49.2	+0.0	
	スポッチャ売上	61.7	62.2	+0.5	
	その他売上	20.0	19.6	0.4	
	総売上	619.4	616.6	2.8	
	売上原価	524.0	527.7	+3.7	
	売上総利益	95.4	88.8	6.5	
	販売費及び一般管理費	13.6	14.1	+0.5	
	営業利益	81.7	74.7	6.9	
	営業外損益	36.7	34.9	+1.7	
	経常利益	44.9	39.7	5.1	
	売上高経常利益率	7.2%	6.5%	0.7%	
	特別損益	122.0	252.5	130.5	
税引前四半期純利益	77.1	212.8	135.7		
法人税等	30.4	83.7	53.3		
四半期純利益	46.6	129.0	82.4		

2011年3月期 連結四半期 計画と実績



2011年3月期(2010年4月～2011年3月)

(単位:億円 小数第二位(百万円)切り捨て表示)

	第1四半期 実績	第2四半期 実績	上期 実績	第3四半期			第4四半期 計画	下期 計画	通期 計画
				計画	実績	差額			
総売上	197.0	218.5	415.5	203.8	201.0	2.8	230.0	431.1	845.0
売上原価	170.4	180.7	351.2	172.7	176.5	+3.7	171.1	347.6	697.0
売上総利益	26.5	37.7	64.3	31.1	24.5	6.5	58.9	83.4	148.0
販管費	4.7	4.6	9.3	4.3	4.7	+0.4	3.9	8.7	18.0
営業利益	21.8	33.1	54.9	26.8	19.7	7.0	54.9	74.7	130.0
営業外損益	11.9	11.8	23.8	12.9	11.1	+1.7	15.9	27.0	50.0
経常利益	9.8	21.2	31.1	13.8	8.6	5.1	39.0	47.6	80.0
売上高経常利益率	5.0%	9.7%	7.5%	6.8%	4.3%	2.5%	17.6%	11.1%	9.5%
特別損益	31.9	89.0	121.0	1.0	131.5	130.5	12.4	143.9	265.0
税引前当期純利益	22.1	67.7	89.9	12.8	122.9	135.7	26.6	96.2	185.0
法人税等	8.2	26.6	34.8	4.4	48.8	53.2	13.7	35.1	70.0
当期(四半期)純利益	13.9	41.1	55.0	8.4	74.0	82.4	12.8	61.1	115.0

(注) 第1四半期～第3四半期の実績には米国店舗を含んでおります。

【備考】 2011年2月10日に通期業績予想の修正を行い、以下の修正を開示しております。

(単位:億円)

	修正前	修正後	増減額	増減率	修正理由
売上高	860億円	845億円	15億円	1.7%	売上高の回復が想定以上に緩やかであるため
営業利益	140億円	130億円	10億円	7.1%	売上高の修正による
経常利益	90億円	80億円	10億円	11.1%	売上高の修正による
当期純利益	24億円	115億円	91億円		出店形態の変更等による

当社の費用構造の大部分は固定費が占めているため、売上高の減少は直接的に利益の減少となります。

2011年3月期 連結計画 出店と損益



(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2010年3月期 前期実績	2011年3月期 当期計画	増減
店舗	新規出店数	店	11	4	7
	総店舗数(期末)	店	105	109	+4
	総店舗稼働月数	月数	1,201	1,275	+74
損益	ボウリング	億円	307	313	+5
	アミューズメント	億円	334	351	+16
	カラオケ	億円	60	67	+6
	スポッチャ	億円	89	88	1
	その他	億円	29	26	3
	総売上	億円	821	845	+23
	営業利益	億円	120	130	+9
	経常利益	億円	78	80	+1
	売上高経常利益率	億円	9.6%	9.5%	0.1%
	当期純利益	億円	33	115	148

(注)2011年3月期計画には、以下の特別損失を計上しております。

- 130億円 … 既存店舗を含む出店形態の変更損失
- 88億円 … 池袋店の出店計画変更に伴う特別損失
- 31億円 … 過年度の資産除去債務費用(当期より適用された「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)の影響による)
- 10億円 … 店舗の減損損失(未決定事項ですが、金額は前期実績を考慮して計上)
- 4億円 … アミューズキット(基盤)の除却損失(毎期発生するものです。金額は前期実績を考慮して計上)

2011年3月期の新規出店内訳…「松山店」、(愛媛県松山市)、「フエンテヒルズモール店」(アメリカ ロサンゼルス)、「府中本町駅前店」(東京都府中市)、「梅田店」(大阪市北区)。なお「フエンテヒルズモール店」は初年度の収支を±0で見込んでいたため、損益計画には反映させておりません。

2011年3月期 連結計画

キャッシュ・フロー



		単位	2010年3月期 前期実績	2011年3月期 当期計画
資金	当期純利益(納税考慮後)	億円	33	185
	配当金額	億円	12	17
	増資(新株予約権付社債による株式転換を含む)	億円	106	81
	減価償却費(リース取引除く)	億円	94	94
	簡易キャッシュフロー	億円	221	27
	設備投資額	億円	357	64
	簡易フリーキャッシュフロー	億円	136	91
	現預金残高	億円	308	211
	有利子負債残高	億円	1,388	1,382
	実質有利子負債残高	億円	1,080	1,171

(注) 億円未満は切り捨て表示

2011年3月期は当期純利益がマイナスとなった影響により実質的には納税が発生しないため、税引前当期純利益の『185億円』を記載しております。

2011年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約17億円 …… さいたま・鴻巣店(2010年3月にオープンしましたが、支払いは2010年4月となりました。)
- ・約11億円 …… 松山店(2010年7年17日オープン済)
- ・約7億円 …… プエンテ ヒルズ モール店(アメリカ ロサンゼルス:現地時間2010年8月27日オープン済)
- ・約25億円 …… 既存店舗(一部の改装やアミューズメント基盤(キット)購入他)
- ・約4億円 …… その他

店舗数・損益状況と既存店売上前年比の推移(連結)



店舗・損益の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4
期中退店数	0	0	1	2	0	0
期末店舗数	58	73	83	94	105	109

(億円未満切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	845億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	130億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	80億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	9.5%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	115億円

(注)2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載(2007年3月期以降は連結額を記載)。

既存店売上前年比の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期 計画
ボウリング	+19.4	+7.1	+1.4	6.5	4.0	2.4
アミューズメント	+11.5	+0.1	6.8	10.8	9.8	+0.4
カラオケ	4.5	+4.0	1.2	7.3	13.1	+3.9
スポッチャ	-	-	16.1	9.8	9.2	3.9
その他	11.3	9.2	+13.2	+11.4	3.9	15.4
総売上	+11.6	+2.0	4.0	8.5	7.7	1.4

既存ローンの借り換えと資産等の推移(連結)



既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 予定	2012年3月期 予定	2013年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約177億円	約292億円	約105億円
対応状況	全額借り換え済	全額借り換え済	既存借入先を中心として概ね完了	既存借入先及び主力取引行を中心に交渉予定	既存借入先を中心に交渉予定

(注) 上記借り換え額は、当社グループ全体の金額です(連結子会社を含む)。

資産等の推移

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,353億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	809億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	34.4%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	211億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,382億円
実質有利子負債残高	651億円	755億円	963億円	1,080億円	1,171億円

リース債務	258億円	268億円	271億円	259億円	260億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	83億円

(注) 保証債務とは、連結子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により、有利子負債に計上されます。

2011年3月期計画は、開示済みのものを除き、既存店舗のセールアンドリースバックを行わなかった場合の額を記載しております。

2011年3月期計画の保証債務(83億円)は、2012年春オープン予定の千日前店のオープンに伴って無くなる予定です。

BS: 有利子負債の削減

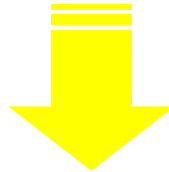
セールアンドリースバックの活用

既存の店舗資産（土地・建物）を売却と同時に賃借へ切り替える方法を活用

有利子負債返済額	年間	200億円前後
約定返済額	年間	100億円前後

（減価償却費相当）

合計300億円前後の年間返済



概ね向こう5年(2016年3月末)までに実質無借金体制へ

売却損が発生した場合

デメリット

- ・会計上の特別損失が発生するため、当期純利益が減少する。（税効果の影響により、キャッシュ・フローではプラス面も）
- ・借入金返済時に、手元資金の流出を伴う可能性

メリット

- ・借入返済により賃借料（金利負担）が軽減され、店舗収支の改善により営業利益が増加

PL: 経常利益200億円へ向けて

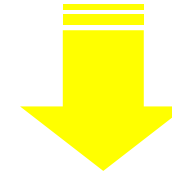
2016年3月期までに経常利益200億円体制

ファイナンスリース料が自動的に軽減

当社ではボウリングレーン、アミューズメント機器、加竹設備等をリース契約しております。これらのリース期間は、約3年（ボウリングのみ7年）で、期間経過後の再リース料は、約12分の1に低減されます。その結果、4年目（37ヵ月目）以降のリース料は、追加投資を考慮しても大きく低減され、スタジアム店舗で約1億円、スタンダード店舗で約9千万円の年間コストが自動削減されます。

賃借料（支払利息相当）の費用負担が軽減

各店舗の売上が現状と同水準で推移
繁華街店舗を含めた新店の収益



2016年3月までに早期の経常利益200億円体制を目指す

ボウリング

ネットワーク対戦ボウリング

カードホルダー数 約250万人
(2011年1月末現在)
引き続き6万人強/月のペースで増加中

ボウリングフロアの改装

明るくスポーティーな雰囲気

人気キャラクターとのコラボグッズ

- オリジナルコラボ商品のプレゼント
- ・2回来店プレゼント
 - ・ムーンライトストライクゲーム等



「ワンピース」とのコラボレーション

(2011年4月頃予定)

超人気作品「ワンピース」のキャラクターを使用した企画を予定
ネットワーク対戦のキャラクターとしても、「ワンピース」のキャラクターが登場予定



©尾田栄一郎 / 集英社・フジテレビ・東映アニメーション

アミューズメント

新規機種の導入

- アニマロッタ (メダル: コナミ)
- ラブプラス メダル (メダル: コナミ)
- ラブプラス アーケード (ビデオゲーム: コナミ)

PASELIの導入

コナミ社の電子マネー『PASELI (パセリ)』を全店に導入

メダルポイント会員

- 2011年1月末: 約25万人
- 会員ステータスに応じてメダル料金を割引

メダル料金の改定

3月中旬を目処にメダル料金の改定を検討

メダル王(キング)

- ジャックポットランキング
- 1日の増加枚数をランキング表示
- Winner'sランキング
- 週間・月間・年間などの指定期間内の増加数をランキング表示



カラオケ

キラ キラ カラドル伝説

月間利用: 5万回

最新機器の導入

全ルームの7割にクロッソ or LIVE DAMを設置

ルームの改装

明るいインテリアに
全室を平面モニターに

メニューチェンジ

- 100%リニューアル
- 低価格メニューの導入
- 280円均一メニュー
- オリジナルアルコールドリンク
- ビアカクテルを数種類導入予定

'ワンピース'とのコラボレーション (2011年4月頃予定)

『ワンピース』をテーマにしたカラオケルーム



©尾田栄一郎 / 集英社・フジテレビ・東映アニメーション

スポッチャ他

オンラインゲームの導入

ネット回線を使用してオンライン化

ゲームコーナーの充実化

コーナー面積の拡充

比較的新しいゲーム機の設置

無料送迎バス

最寄り駅 店舗間を時刻表に基づいて無料送迎

7店舗にテスト導入

上尾店、朝霞店、宇都宮店、習志野店、入間店、

堺中央環状店、岡山妹尾店

土日祝に小中高生等の利用者増

移動広告としての宣伝効果



販売促進・広告宣伝

メール会員制度『ラウポケ』

2011年1月末の登録者数 約120万人

週2回のペースでメールを配信

お得情報、割引クーポン、ショートゲーム等を配信

テレビコマercial

ゴールデンタイムへの集中化

タイアップ等により、当社施設を使った番組の積極化

『ワンピース』とのコラボレーション (2011年4月頃予定)

『ワンピース』のキャラクターによる販促グッズ

ストラップ等の景品

その他の広告宣伝にも積極的に活用



©尾田栄一郎 / 集英社・フジテレビ・東映アニメーション

今後の出店



2011年3月期オープン店舗

オープン時期	店舗名	店舗タイプ
2010年7月17日 オープン済	松山店	スタンダード・ロードサイド
2010年8月27日 オープン済	プエンテ ヒルズ モール店(アメリカ ロサンゼルス)	スタンダード・ロードサイド
2011年3月中旬 オープン予定	府中本町駅前店	スタンダード・ロードサイド
2011年3月下旬 オープン予定	梅田店	スタンダード・繁華街

2011年4月以降の計画店舗

オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2011年 秋頃	東海地方	スタンダード
2012年 春頃	千日前店	スタジアム(スポッチャ含む)・繁華街
2012年 冬頃	池袋店	スタンダード・繁華街

【注意】

- ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。
- ・2011年4月以降の計画店舗については、予告なしに出店を中止・変更する可能性があります。
- ・上記以外への新規出店は原則として凍結して財務体質の強化を図りますが、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合は、首都圏の大型ショッピングモール内や十分な収益が見込めるに場合に限り出店する可能性があります。

2011年3月期 全社売上と既存店前年比 実績と計画



全社売上実績と計画

(単位未満は切り捨て表示)

	第1Q	第2Q	第1Q-第2Q	第3Q		第4Q	第3Q-第4Q	通期
	実績	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画
ボウリング	73.3億円	77.2億円	150.6億円	72.8億円	71.2億円	91.5億円	162.7億円	313.0億円
アミューズメント	81.3億円	93.4億円	174.8億円	90.1億円	88.7億円	88.4億円	177.1億円	351.0億円
カラオケ	14.9億円	17.3億円	32.3億円	16.8億円	16.9億円	17.9億円	34.8億円	67.0億円
スポッチャ	20.7億円	23.1億円	43.9億円	17.7億円	18.3億円	25.7億円	44.0億円	88.0億円
その他	6.5億円	7.2億円	13.8億円	6.2億円	5.7億円	6.4億円	12.2億円	26.0億円
総売上	197.0億円	218.5億円	415.5億円	203.8億円	201.0億円	230.0億円	431.1億円	845.0億円

(注) 第3四半期累計期間実績額には、米国店舗(プレンティス・モール店)の売上約170百万円を含んでおりますが、損益計画では収支を±0で見込んでいる都合上、下半期の計画額には含まれておりません。従って第3四半期累計期間+第4四半期と通期計画額とを比較すると、若干の差額が生じております。

既存店前年比実績と計画

(小数第2位を四捨五入)

	第1Q	第2Q	第1Q-第2Q	第3Q		第4Q	第3Q-第4Q	通期
	実績	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画
ボウリング	6.1%	6.4%	6.2%	+3.9%	+1.1%	+1.5%	+1.3%	2.4%
アミューズメント	5.7%	+0.8%	2.3%	+7.2%	+3.8%	+2.2%	+3.0%	+0.4%
カラオケ	8.1%	+2.7%	2.5%	+10.7%	+10.8%	+9.7%	+10.2%	+3.9%
スポッチャ	11.3%	11.1%	11.2%	+1.9%	+4.4%	+4.0%	+4.2%	3.9%
その他	18.9%	15.4%	17.1%	11.8%	9.3%	17.6%	13.7%	15.4%
総売上	7.2%	3.7%	5.3%	+5.1%	+3.0%	+2.0%	+2.4%	1.4%

店舗の状況



出店数の推移

	出店数	退店数	期末 総店舗数	期末総店舗数の内訳			
				スタンダード		スタジアム	
				繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド
～2004年3月期	45	4	41	7	34	-	-
2005年3月期	6	0	47	8	34	-	5
2006年3月期	11	0	58	8	34	-	16
2007年3月期	15	0	73	8	34	-	31
2008年3月期	11	a 1	83	8	34	-	41
2009年3月期	a 13	2	94	7	45	-	42
2010年3月期	11	0	105	7	55	-	43
2011年3月期	b 4	0	109	8	58	-	43

a 2008年3月期に退店した「富士店」は、翌2009年3月期に同じ場所に完全に建て替えを行い、リニューアルオープンしております。

b 2011年3月期の出店内訳：「松山店」(2010年7月17日オープン済み)、「プエンテヒルズモール店」(2010年8月27日オープン済み)、「府中本町駅前店」(2011年3月中旬オープン予定)、「梅田店」(2011年3月下旬オープン予定)

エリア別店舗数(2011年1月末現在)

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	アメリカ	合計
店舗数	10	4	31	13	29	8	11	1	107
シェア	9.3%	3.7%	29.0%	12.1%	27.1%	7.5%	10.3%	0.9%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

- ・ docomo <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ Soft Bank <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ au <http://www.round1.co.jp/mobile/>



携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 (072)224-5115